

2025 年 10 月 入 学

2026 年 4 月 入 学

2026 年 10 月 入 学

総 合 研 究 大 学 院 大 学
先 端 学 術 院 先 端 学 術 専 攻
【統合進化科学コース】

5 年一貫制博士課程
博士後期課程

学 生 募 集 要 項

出願は、オンライン入試出願システム「The Admissions Office」にて受け付けます。「The Admissions Office」での出願方法については、本学ホームページを参照してください。

https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ies/index.html

【問合せ先】 ※問い合わせは志願者本人が行うこと

総合研究大学院大学 学務課学生係

住 所： 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)

電 話： 046-858-1525・1526

E-mail： gakusei@ml.soken.ac.jp

時 間： 平日 9:00～12:00 及び 13:00～17:00

目 次

I. 先端学術院先端学術専攻の概要	p. 1
II. 5年一貫制博士課程 出願手続き及び注意事項	p. 3
III. 博士後期課程 出願手続き及び注意事項	p. 11
統合進化科学コース 担当教員の研究内容	p. 19

I. 先端学術院先端学術専攻の概要

アドミッション・ポリシー

求める学生像
総合研究大学院大学は、研究に対する強い興味を持ち、学問の全体を俯瞰的に捉えながら、新しい時代を切り開く研究を目指して、豊かな知性と感性を絶えず研磨し、国際的に活躍する意志と熱意を持った学生を求める。
入学選抜の基本的な考え方
総合研究大学院大学は、入学を選抜するにあたって、我が国の先端学術を牽引する大学共同利用の研究所その他の機関が担う学術分野において、自立的に研究を推進することのできる基礎学力と論理的な思考力を重視する。そのような力を適正に判定するために、それぞれの専門領域に応じた多様な選抜を実施する。

教育研究上の目的、養成する人材像

本学は、5年一貫制博士課程及び博士後期課程を持つ国立大学で、博士の学位を目指す学生のみ受け入れます。

先端学術院は、本学創設の理念と目的に基づき、大学共同利用機関等を基盤とする大学院大学として、学術のあるべき姿を長期的に見据え、人類社会の知的基盤を支える学術の継承・発展や高度な研究開発の担い手となり、新たな知的価値を創出することができる博士人材を育成し輩出することを目的とします。

総研大とは

本学ウェブサイト (<https://www.soken.ac.jp/features/>) をご参照ください。

教員一覧

本学ウェブサイト (<https://www.soken.ac.jp/faculty-directory/index.html>) をご参照ください。

授業科目について

本学ウェブサイト (<https://www.soken.ac.jp/education/curriculum/course/>) をご参照ください。

学位（博士）取得について

5年一貫制博士課程

本学に5年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがある。

博士後期課程

本学に3年以上在学し、所定の単位を修得し、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については短縮することがある。

授与する学位

教育コース	学位記に付記する分野	英文学位
人類文化研究	博士（文学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	Doctor of Philosophy
国際日本研究	博士（学術）	
日本歴史研究	博士（文学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
日本文学研究	博士（文学）	
日本語言語科学	博士（文学）または博士（学術）	
情報学	博士（情報学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
統計科学	博士（統計科学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
素粒子原子核	博士（理学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
加速器科学	博士（学術）、博士論文の内容によっては博士（理学）または博士（工学）	
天文科学	博士（学術）、博士論文の内容によっては博士（理学）または博士（工学）	
核融合科学	博士（学術）、博士論文の内容によっては博士（理学）または博士（工学）	
宇宙科学	博士（理学）・博士（工学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
分子科学	博士（理学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
物質構造科学	博士（学術）、博士論文の内容によっては博士（理学）または博士（工学）	
総合地球環境学	博士（学術）または博士（理学）	
極域科学	博士（理学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
基礎生物学	博士（理学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
生理科学	博士（学術）、博士（理学）、博士（脳科学）、博士論文の内容によっては博士（医学）	
遺伝学	博士（理学）、博士論文の内容によっては博士（学術）	
統合進化科学	博士（理学）・博士（学術）	

（注）博士（医学）については、医学・歯学・薬学・獣医学に係る6年制の学部を卒業または医科学修士の学位を有し、5年一貫制博士課程へ入学した者のみが対象となります。

Ⅱ．5 年一貫制博士課程 出願手続き及び注意事項

1. 募集人員

教育コース	4 月入学	10 月入学
情報学	8 名程度	若干名
統計科学	2 名程度	若干名
素粒子原子核	6 名程度	若干名
加速器科学	2 名程度	若干名
天文科学	5 名程度	－
核融合科学	3 名程度	若干名
宇宙科学	4 名程度	若干名
分子科学	7 名程度	－
物質構造科学	2 名程度	若干名
極域科学	2 名程度	－
基礎生物学	5 名程度	若干名
生理科学	3 名程度	若干名
遺伝学	6 名程度	若干名
統合進化科学	3 名程度	若干名
入学定員	58 名	

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

【出願資格認定審査を要しない者】

- ① 学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 83 条に定める大学を卒業した者及び入学の前月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び入学の前月までに学士の学位を授与される見込みの者 ※1
- ③ 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学の前月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学の前月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学の前月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- ⑦ 学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 5 号の規定により、文部科学大臣が別に指定する専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を文部科学大臣が定める日以降

に修了した者及び入学の前月までに修了する見込みの者

- ⑧ 学校教育法施行規則第155条第1項第6号の規定により、文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)※2

【出願資格認定審査を要する者】

- ⑨ 次のいずれかに該当するものであって、本学において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (1) 入学の前月末日で外国において学校教育における15年の課程を修了した者
 - (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者
 - (3) 我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑩ 入学の前月末日で学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者であって、本学において、当該大学の所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- ⑪ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本学において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ⑫ 本学において、個別の入学者資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の前月末日までに22歳に達しているもの ※3

※1 出願資格②に該当する者とは、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者になります。

※2 出願資格⑧に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者になります。

※3 出願資格⑫に該当する者とは、短大・高専・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者(見込みを含む)で、個人の能力の個別審査により、本学において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者等になります。

出願資格について疑問がある場合は、あらかじめ学務課学生係 [E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は 電話 046-858-1525・1526] に照会してください。

3. 出願資格認定審査

出願資格⑨～⑫により出願しようとする者については、以下の書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。

(1) 提出書類

ア. 入学者選拔出願資格認定申請書	本学所定の様式(様式4-1)
イ. 通常の出願書類	「4. 出願受付(2) 出願書類」に定める書類 ※ただし、出願資格認定申請時に入学願書の提出は不要です。また、検定料については出願資格が認定された後に払い込んでください。

上記ア及びイは、一括して提出してください。また、必要に応じてコースから追加書類の提出を求める場合があります。

(2) 出願資格認定審査のための書類提出期間(出願資格⑨～⑫で出願する者のみ)

入試区分	入学区分	出願資格認定申請期間
第1回	2025年10月入学及び2026年4月入学	2025年6月2日(月) ～ 2025年6月5日(木)
第2回	2026年4月入学及び2026年10月入学	2025年11月4日(火) ～ 2025年11月6日(木)

※受付時間は、期間中の平日9:00～12:00、13:00～17:00とします。

(3) 提出方法

(1) の提出書類を以下の提出先へ郵送してください。必ず速達・簡易書留郵便としてください。なお、封筒の表に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。
提出先（総合研究大学院大学学務課学生係）に直接提出する場合は、提出期間最終日の17時までには持参してください。

提出先 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村） 総合研究大学院大学 学務課学生係 電話番号：046-858-1525・1526
--

(4) 出願資格認定審査の結果

出願資格認定審査の結果は、願書受付期間の前までに本人に通知します。
出願資格を認定された者についてはオンライン入試出願システム「The Admissions Office」にて検定料を払い込んでください。手続き方法については、別途指示します。

4. 願書受付

出願は、オンライン入試出願システム「The Admissions Office」より申請してください。「The Admissions Office」での申請方法については、本学ホームページを参照してください。

https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ies/index.html

なお、出願に係る連絡は、The Admissions Office を通じて行います。The Admissions Office に登録いただいたメールアドレス宛に、no-reply@admissions-office.net よりメッセージが届きましたら、「メッセージを確認する」のリンクをクリックし、必ずご確認ください。また、以下の手順でメッセージを確認いただくこともできます。

- (i) The Admissions Office にログイン
- (ii) 「メッセージ」を選択
- (iii) 募集名「総合研究大学院大学 / 先端学術院先端学術専攻 / 統合進化科学コース / 一般入試：●●年●月入学及び●●年●月入学（※（1）の入学区分参照）」を選択

(1) 受付期間

それぞれの受付期間の最終日までに必着とします。

入試区分	入学区分	出願期間
第1回	2025年10月入学及び2026年4月入学	2025年6月26日（木） 0時00分～ 2025年7月2日（水） 12時00分（正午）
第2回	2026年4月入学及び2026年10月入学	2025年12月4日（木） 00時00分～ 2025年12月10日（水） 12時00分（正午）

※上記表記は日本時間です。

(2) 出願書類

【全員提出が必要なもの】

書類名	提出方法・留意事項
入学願書（出願者情報）	以下の基本情報を「The Admissions Office」にて入力してください。 ・必須項目：氏名、フリガナ、生年月日、性別、入学希望時期、郵便番号、住所、E-mail、電話番号、本学での過去の在籍状況、顔写真（画像データをアップロード）、学歴（高等学校以上）、他コースとの併願状況 ・推奨項目：研究歴（研究歴記載ファイルをアップロード）、職歴（職歴記載ファイルをアップロード）、賞罰・資格
書類名	提出方法・留意事項
成績証明書	PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。 出願資格①：大学（学部）の成績証明書すべて ※編入学により認定されている科目がある場合には、編入学前（高等専門学校または短期大学等）の成績証明書も提出すること 出願資格②：学位の取得に係る証明書すべて

	出願資格③～⑨：外国の大学等の成績証明書 出願資格⑩～⑫：最終学歴に係る成績証明書
卒業（見込）証明書等	PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。 出願資格①：大学（学部）の卒業（見込）証明書 出願資格②：大学改革支援・学位授与機構が発行する学位授与証明書または学校長が発行する学位授与申請予定証明書 出願資格③～⑨：外国の大学等の卒業（見込）証明書 出願資格⑩：在学証明書 出願資格⑪～⑫：最終学歴に係る卒業（見込）証明書
志望理由書	本学ホームページより 様式2 をダウンロードし、PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。
検定料	検定料は30,000円です。クレジットカードによる決済となります。 国費外国人留学生は検定料の納付は不要です。検定料免除コードをお送りしますので、国費外国人留学生であることを証明できる書類を添付し、学務課学生係までご連絡ください。 [学務課学生係] E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp
外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	簡易チェックフローチャート（*）を参照し、本学所定の様式（ 様式5 ）により作成してください。 簡易チェックフローチャートの詳細については、総務課研究協力係 [E-mail: kenkyo@ml.soken.ac.jp] にお問合せください。 * https://www.soken.ac.jp/admission/file/tokuteiruikei.pdf ※日本国外に居住する者は提出不要

【該当者のみ提出が必要なもの】

書類名	該当者	提出方法・留意事項
履歴書	外国で教育を受けた出願者は全員	本学ホームページより 様式1 をダウンロードし、PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。
論文、報告書等研究能力を示す資料	該当者	PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。
在職在学許可書	在職している者（正規の職員である者または雇用期間が1年以上かつ週の労働時間が30時間以上の職に就いた者）	本学ホームページより 様式3 をダウンロードし、当該所属長が記載した 在職在学許可書をPDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。ただし、在職在学許可書の提出が困難な者は、本人が入学時に在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等を提出する旨を記載した申立書（様式任意）をもって 様式3 に代えることができます。 ※本学への入学時に退職予定である者は、その旨を記載した申立書（様式任意）を提出すること
在留カードまたはパスポート	外国籍出願者	在留カードは両面とも提出してください。 日本国外に居住する者はパスポートの本人情報ページを提出してください。 PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。

（注1）様式1～様式5については、大学ホームページからダウンロードしてください。

https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ies/index.html

（注2）提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、出願書類は返却しません。

（注3）婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本（写し可）を添付してください。

（注4）出願書類は日本語もしくは英語で記入してください。また、日本語もしくは英語ではない言語で記載された証明書を提出する場合は、日本語または英語の証明書等を添付してください。

（注5）博士後期課程または修士課程に在学中の（または在学していた）出願者は、博士後期課程または修士課程の成績

証明書を提出してください。また、博士後期課程または修士課程を修了した出願者は修了証明書を、退学した出願者は退学証明書を提出してください。

(注6) 他コースとの併願を希望される場合、併願先のコースについては冊子版の「出願書類様式集」で出願書類を準備してください。「出願書類様式集」の請求方法は、以下よりご確認ください。

https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/gias_guideline/application/index.html

5. 選抜の方法、期日及び試験場

入学者の選抜は、書類選考と学力検査により行います。

選抜方法については、後述の「受験される皆さんへ」を参照してください。

入試区分	入学区分	学力検査の実施期間
第1回	2025年10月入学及び2026年4月入学	2025年8月7日（木）～ 2025年8月8日（金）
第2回	2026年4月入学及び2026年10月入学	2026年1月26日（月）～ 2026年1月27日（火）

※上記表記は日本時間です。

試験日程通知及び受験票は、別途本人へ The Admissions Office よりご連絡します。The Admissions Office に登録いただいたメールアドレス宛に、”no-reply@admissions-office.net” よりメッセージが届きましたら、「メッセージを確認する」のリンクをクリックしてください。

また、以下の手順でもご確認ください。

◎受験票の確認手順

- (i) The Admissions Office にログイン
- (ii) 「出願一覧」をクリック
- (iii) 「提出済」タブをクリック
- (iv) 募集名「総合研究大学院大学 / 先端学術院先端学術専攻 / 統合進化科学コース / 一般入試：●●年●月入学及び●●年●月入学（入学区分参照）」を選択
- (v) 「受験票表示」をクリック

◎試験日程通知の確認手順

- (i) The Admissions Office にログイン
- (ii) 「メッセージ」を選択
- (iii) 募集名「総合研究大学院大学 / 先端学術院先端学術専攻 / 統合進化科学コース / 一般入試：●●年●月入学及び●●年●月入学（入学区分参照）」を選択

(注1) 指定された学力検査の期日及び時間に、余裕を持って集合してください。

(注2) 試験日程通知が学力検査期間の3日前を過ぎても到着しない場合は、学務課学生係 (gakusei@ml.soken.ac.jp) まで問い合わせてください。

試験会場：（予定）

教育コース	試験会場
統合進化科学	葉山キャンパス 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村） （詳しくは https://www.soken.ac.jp/access/ ）

※海外在住の出願者で面接試験の際、日本へ渡航できない特段の事情がある場合、出願期間中にその理由をお知らせください。統合進化科学コースで認められた場合は、対面に代わる手段を講じます。

6. 合格者発表

入試区分	入学区分	発表時期
第1回	2025年10月入学及び2026年4月入学	2025年8月下旬
第2回	2026年4月入学及び2026年10月入学	2026年2月上旬

※詳細は追って出願者に通知します。

選考状況は、The Admissions Office において、以下の手順でご確認いただけます。

- (i) The Admissions Office にログイン

- (ii) 「出願一覧」をクリック
- (iii) 「提出済」タブをクリック
- (iv) 募集名「総合研究大学院大学 / 先端学術院先端学術専攻 / 統合進化科学コース / 一般入試：●●年●月入学及び●●年●月入学（入学区分参照）」を選択
- (v) 「選考状況を確認する」をクリック

電話による照会には、一切応じません。なお、合格者に対しては合格通知書を発送します。

7. 入学手続き

- (1) 入学手続き期間は、2025 年 10 月入学者は 2025 年 9 月下旬、2026 年 4 月入学者は 2026 年 3 月上～中旬、2026 年 10 月入学者は 2026 年 9 月下旬を予定していますので、合格者は所定の期間内に入学手続きを完了してください。なお、詳細は、合格者に対して別途通知します。
- (2) 入学に要する経費は次のとおりです。ただし、国費外国人留学生は入学料及び授業料は不要です。

入学料	282,000 円
授業料（年額 535,800 円のうち半期分）	267,900 円
学生教育研究災害傷害保険料(5 年分)（通学特約・賠償特約付）	5,750 円

注1 入学時及び在学中に、入学料及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

注2 納付済みの入学料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、学生教育研究災害傷害保険料については、2025 年 10 月入学者は 2025 年 9 月 30 日まで、2026 年 4 月入学者は 2026 年 3 月 31 日まで、2026 年 10 月入学者は 2026 年 9 月 30 日までに入学を辞退した場合、返還します。

- (3) 有職者（非常勤、アルバイトを除く。）については、任命権者が発行する書類（在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等のいずれか）を提出してください。本学入学の前月までに退職する者は、退職証明書を提出してください。
- (4) 出願時に他の大学・大学院に在籍している者（本学入学の前月までに卒業・修了する者は除く）は、退学証明書を提出してください。
- (5) 外国籍の方は、特別な事情のない限り、「留学」の在留資格を取得して下さい。「留学」の在留資格の取得方法は本学ウェブサイトにて案内しています。

8. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、職業を有している等の事情により、標準の修業年限（5 年一貫制博士課程：5 年）を超えて在学しなければ課程を修了することが出来ない者が、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出た場合、その計画的な履修を認める制度です。

この制度の詳細に関しては、学務課教務係 [E-mail: kyomu@ml.soken.ac.jp 又は電話 046-858-1523・1524] にお問合せください。

9. 注意事項

- (1) 出願及び受験の際は、「受験される皆さんへ」をよく読んでおいてください。
- (2) 出願書類受理後の提出書類の返却及び内容変更は認められません。
- (3) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願時に他の大学院に在学中で転入学を希望する場合は、願書受付期間の最終日までに学務課学生係までお知らせください。
- (5) 心身に障害のある出願者で受験時および入学後の履修に際し、特別な措置を必要とされる場合には、出願書類受付期間の 3 か月前までにその旨お知らせください。
- (6) 受験辞退される際には、学務課学生係 [E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax: 046-858-1632] までお知らせください。
- (7) 出願書類提出後に、住所等の変更がある場合には、学務課学生係 [E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax: 046-858-1632] までお知らせください。
- (8) 本学では、原則として二重学籍を認めていません。
- (9) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、入学者選抜の実施方法を変更する場合は、本学ウェブサイトで公表しますので、必ず確認してください。

- (10) 先端学術院の5年一貫制博士課程に入学した者のうち、本学学位規則第5条に規定されている修士学位取得資格者認定に合格し、かつ退学を許可された者に対しては、退学時に修士の学位を授与します。

10. 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「総合研究大学院大学安全保障輸出管理規則」等を定め、技術の提供や研究者・学生の受入れに際し、審査を実施しています。このことから、規制事項に該当するおそれのある場合は、希望する教育・研究内容の変更を求められることがあります。なお、入試の可否には関係ありません。

安全保障貿易管理の詳細については、経済産業省のウェブサイトを参照してください。また、審査手続きの詳細は各コースの担当事務までお問い合わせください。

- ・経済産業省のウェブサイト <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

11. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続き」等の入試業務を行うために利用します。
なお、入学者については、「教務関係（学籍管理、就学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料徴収に関する業務」を行うことにも使用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

統合進化科学コース（5年一貫制博士課程）を受験される皆さんへ

併願について、出願期間・課程・入学年月が同一の場合に、第2志望までの併願を可とします。本コースは、天文科学コース、核融合科学コース、分子科学コース、物質構造科学コース、極域科学コース、基礎生物学コース、生理科学コース、遺伝学コースとの併願を認めます。ただし、選抜は、コースごとに行われますので、併願する際には各試験日程・試験会場について留意してください。

1. 選抜方法

書類選考、英語能力及び面接により選抜します。面接は日本語または英語で実施します。

1) 書類選考：

本コースが提出を求めた資料について行います。

2) 英語能力：

面接の際に、簡単な英語の問題に答えていただきます。

(※ただし、面接を英語で受験する者を除く。)

3) 面接：

面接は最長で50分間です。

興味の対象、今後の研究への抱負および英語の能力について面接を行います。

- ① 研究に必要な英語能力を見るために英語の文章の黙読を行い、その後、その文章についての質疑応答を行います（英語で受験する場合はこの試験は実施しません）。
- ② 現在行っている研究（卒業研究、それ以外でも可）と本コースで学びたいことについて、10分間で説明してください。
- ③ その後、質疑応答を行います。
- ④ 質疑応答には、研究に必要な基礎知識に関する問題も含まれます。

※上記②の参考資料として、プレゼンテーション用の資料を1枚配布することが可能です（A4版、図・表の使用可、両面印刷不可）。それ以外の資料（説明原稿など）は持ち込み不可です。プレゼンテーション用の配布資料は使用言語に合わせて準備してください。

※必要に応じてホワイトボードを使用することは可能です（その他の機器の使用は不可）。

※上記の配布資料は、原則として試験日の1週間前までに統合進化科学研究センター事務係 (hayamajimu@ml.soken.ac.jp) へご提出ください。

2. 採点・評価基準及び合否判定基準

採点・評価基準：出願書類及び面接により出願者の学問に対する熱意や意欲、基礎学力、表現力、論理性、研究者としての適性等の点を評価し採点します。

合否判定基準：面接の結果と出願書類による評価を総合的に検討し、合否を決定します。

3. 上記に関する問い合わせ先

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総合研究大学院大学 総務課 統合進化科学研究センター事務係

電話 046-858-1595, 1577

E-mail hayamajimu@ml.soken.ac.jp

ホームページアドレス <https://ies.soken.ac.jp/index.html>

Ⅲ．博士後期課程 出願手続き及び注意事項

1. 募集人員

教育コース	4月入学	10月入学
人類文化研究	4名程度	－
国際日本研究	3名程度	－
日本歴史研究	3名程度	－
日本文学研究	2名程度	－
日本語言語科学	3名程度	－
情報学	12名程度	若干名
統計科学	6名程度	若干名
素粒子原子核	1名程度	若干名
加速器科学	1名程度	若干名
天文科学	1名程度	若干名
核融合科学	2名程度	若干名
宇宙科学	3名程度	若干名
分子科学	5名程度	若干名
物質構造科学	1名程度	若干名
総合地球環境学	2名程度	－
極域科学	1名程度	若干名
基礎生物学	3名程度	若干名
生理科学	6名程度	若干名
遺伝学	2名程度	若干名
統合進化科学	1名程度	若干名
入学定員	62名	

2. 出願資格

出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

【出願資格認定審査を要しない者】

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び入学の前月までに取得する見込みの者
- ② 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑤ 学校教育法施行規則第156条第4号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び入学の前月までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、外国の大学院の課程を有する教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有すると同等以上の学力があると認められた者及び入学の前月までに認められる見込みの者

【出願資格認定審査を要する者】

- ⑦ 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び入学の前月までに2年以上研究に従事することとなる見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑧ 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者及び入学の前月までに2年以上研究に従事することとなる見込みの者で、本学において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑨ 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学の前月末日までに24歳に達しているもの

出願資格について疑問がある場合は、あらかじめ学務課学生係 [E-mail:gakusei@ml.soken.ac.jp 又は電話 046-858-1525・1526] へ照会してください。

3. 出願資格認定審査

- [1] 出願資格⑦～⑨により出願しようとする者については、以下の書類を所定の提出期日までに学務課学生係へ提出してください。なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。
- [2] 出願資格⑦～⑨により出願しようとする者についての「修士の学位を有する者と同等以上の学力」の確認は、書類審査で行います。なお、必要のある場合は面接を行います。

出願資格認定審査についての提出書類等は、以下のとおりとします。

(1) 提出書類

ア. 入学者選拔出願資格認定申請書	本学所定の様式 (様式4-2)
イ. 通常の出願書類	「4. 出願受付 (2) 出願書類」に定める書類 ※ただし、出願資格認定申請時に入学願書の提出は不要です。また、検定料については出願資格が認定された後に払い込んでください。
ウ. その他コースが必要と認める書類	詳細については、本コースに問い合わせてください。

上記ア～ウは、一括して提出してください。また、必要に応じてコースから追加書類の提出を求める場合があります。

(2) 提出期間 (出願資格⑦～⑨で出願する者のみ)

入試区分	入学区分	出願資格認定申請期間
第1回	2025年10月入学及び2026年4月入学	2025年6月2日 (月) ～ 2025年6月5日 (木)
第2回	2026年4月入学及び2026年10月入学	2025年11月4日 (火) ～ 2025年11月6日 (木)

※受付時間は、期間中の平日 9:00～12:00、13:00～17:00 とします。

(3) 提出方法

- (1) の提出書類を以下の提出先へ郵送してください。必ず速達・簡易書留郵便としてください。なお、封筒の表に「出願書類及び出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

提出先 (総合研究大学院大学学務課学生係) に直接提出する場合は、提出期間最終日の 17 時までに持参してください。

提出先 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町 (湘南国際村) 総合研究大学院大学 学務課学生係 電話番号: 046-858-1525・1526
--

(4) 出願資格認定審査の結果

出願資格認定審査の結果は、願書受付期間の前までに本人に通知します。

出願資格を認定された者についてはオンライン入試出願システム「The Admissions Office」にて検定料を払い込んでください。手続き方法については、別途指示します。

4. 願書受付

出願は、オンライン入試出願システム「The Admissions Office」より申請してください。「The Admissions Office」での申請方法については、本学ホームページを参照してください。

https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ies/index.html

なお、出願に係る連絡は、The Admissions Office を通じて行います。The Admissions Office に登録いただいたメールアドレス宛に、no-reply@admissions-office.net よりメッセージが届きましたら、「メッセージを確認する」のリンクをクリックし、必ずご確認ください。また、以下の手順でメッセージを確認いただくこともできます。

- (i) The Admissions Office にログイン
- (ii) 「メッセージ」を選択
- (iii) 募集名「総合研究大学院大学 / 先端学術院先端学術専攻 / 統合進化科学コース / 一般入試：●●年●月入学及び●●年●月入学（（1）受付期間の「入試区分」参照）」を選択

(1) 受付期間

それぞれの受付期間の最終日までに必着とします。

入試区分	入学区分	出願期間
第1回	2025年10月入学及び2026年4月入学	2025年6月26日（木） 0時00分～ 2025年7月2日（水） 12時00分（正午）
第2回	2026年4月入学及び2026年10月入学	2025年12月4日（木） 0時00分～ 2025年12月10日（水） 12時00分（正午）

※上記表記は日本時間です。

(2) 出願書類

【全員提出が必要なもの】

書類名	提出方法・留意事項
入学願書	以下の基本情報を「The Admissions Office」にて入力してください。 ・必須項目：氏名、フリガナ、生年月日、性別、入学希望時期、郵便番号、住所、E-mail、電話番号、本学での過去の在籍状況、顔写真（画像データをアップロード）、学歴（高等学校以上）、他コースとの併願状況 ・推奨項目：研究歴（研究歴記載ファイルをアップロード）、職歴（職歴記載ファイルをアップロード）、賞罰・資格
成績証明書	PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。 出願資格①：大学院（修士課程または専門職大学院）と大学（学部）の成績証明書すべて ※編入学により認定されている科目がある場合には、編入学前（高等専門学校または短期大学等）の成績証明書も提出すること 出願資格②～⑥：外国の大学院（修士課程または専門職大学院）と大学（学部等）の成績証明書すべて 出願資格⑦～⑨：最終学歴に係る成績証明書
修士課程修了（見込）証明書等	PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。 出願資格①：大学院（修士課程または専門職大学院）の修了（見込）証明書 ※大学院を修了した者は、取得学位が記載された修了証明書を提出すること 出願資格②～⑤：外国の大学院等の修了（見込）証明書 ※大学院等を修了した者は、取得学位が記載された修了証明書を提出すること 出願資格⑥～⑨：最終学歴に係る卒業証明書
書類名	提出方法・留意事項
志望理由書	本学ホームページより様式2 をダウンロードし、PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。
検定料	検定料は30,000円です。クレジットカードによる決済となります。 国費外国人留学生は検定料の納付は不要です。検定料免除コードをお送りしますので、国費外国人

	留学生であることを証明できる書類を添付し、学務課学生係までご連絡ください。 [学務課学生係] E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp
外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書	簡易チェックフローチャート（*）を参照し、本学所定の様式（様式5）により作成してください。 簡易チェックフローチャートの詳細については、総務課研究協力係 [E-mail: kenkyo@ml.soken.ac.jp] にお問合せください。 * https://www.soken.ac.jp/admission/file/tokuteiruikei.pdf ※日本国外に居住する者は提出不要

【該当者のみ提出が必要なもの】

書類名	該当者	提出方法・留意事項
履歴書	外国で教育を受けた出願者は全員	本学ホームページより様式1をダウンロードし、PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。
修士論文	修士の学位を有する者及び修士課程在学中で修士論文を提出済みの者	PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。
修士論文の要旨	修士の学位を有する者及び修士課程在学中で修士論文を提出済みの者	PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。
学術論文	発表した学術論文がある者	PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。 ※6 件以上の学術論文を提出する場合、6 件目以降は出願完了後に「The Admissions Office」のメッセージ機能で提出すること。
在職在学許可書	在職している者（正規の職員である者または雇用期間が1年以上かつ週の労働時間が30時間以上の職に就いた者）	本学ホームページより様式3をダウンロードし、当該所属長が記載した 在職在学許可書を PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。ただし、在職在学許可書の提出が困難な者は、本人が入学時に在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等を提出する旨を記載した申立書（様式任意）をもって様式3に代えることができます。 ※本学への入学時に退職予定である者は、その旨を記載した申立書（様式任意）を提出すること
在留カードまたはパスポート	外国籍出願者	在留カードは両面とも提出してください。 日本国外に居住する者はパスポートの本人情報ページを提出してください。 PDF もしくは画像ファイルにてアップロードしてください。

(注1) 様式1～様式5については、大学ホームページからダウンロードしてください。

https://www.soken.ac.jp/admission/application_info/ies/index.html

(注2) 提出された書類等に不備がある場合には、受理しません。また、出願書類は返却しません。

(注3) 婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本（写し可）を添付してください。

(注4) 出願書類は日本語もしくは英語で記入してください。また、日本語もしくは英語ではない言語で記載された証明書を提出する場合は、日本語または英語の証明書等を添付してください。

(注5) 博士後期課程に在学中の（または在学していた）出願者は、博士後期課程の成績証明書を提出してください。また、博士後期課程を修了した出願者は修了証明書を、退学した出願者は退学証明書を提出してください。

(注6) 他コースとの併願を希望される場合、併願先のコースについては冊子版の「出願書類様式集」で出願書類を準備してください。「出願書類様式集」の請求方法は、以下よりご確認ください。

https://www.soken.ac.jp/admission/general_admission/gias_guideline/application/index.html

5. 選抜の方法、期日及び試験場

入学者の選抜は、書類選考と学力検査により行います。
選抜方法については、後述の「受験される皆さんへ」を参照してください。

入試区分	入学区分	学力検査の実施期間
第1回	2025年10月入学及び2026年4月入学	2025年8月7日（木）～ 2025年8月8日（金）
第2回	2026年4月入学及び2026年10月入学	2026年1月26日（月）～ 2026年1月27日（火）

※上記表記は日本時間です。

試験日程通知及び受験票は、別途本人へThe Admissions Office よりご連絡します。The Admissions Office に登録いただいたメールアドレス宛に、”no-reply@admissions-office.net” よりメッセージが届きましたら、「メッセージを確認する」のリンクをクリックしてください。
また、以下の手順でもご確認いただけます。

◎受験票の確認手順

- (i) The Admissions Office にログイン
- (ii) 「出願一覧」をクリック
- (iii) 「提出済」タブをクリック
- (iv) 募集名「総合研究大学院大学 / 先端学術院先端学術専攻 / 統合進化科学コース / 一般入試：●●年●月入学及び●●年●月入学（入学区分参照）」を選択
- (v) 「受験票表示」をクリック

◎試験日程通知の確認手順

- (i) The Admissions Office にログイン
- (ii) 「メッセージ」を選択
- (iii) 募集名「総合研究大学院大学 / 先端学術院先端学術専攻 / 統合進化科学コース / 一般入試：●●年●月入学及び●●年●月入学（入学区分参照）」を選択

(注1) 指定された学力検査の期日及び時間に、余裕を持って集合してください。

(注2) 試験日程通知が学力検査期間の3日前を過ぎても到着しない場合は、学務課学生係 (gakusei@ml.soken.ac.jp) まで問い合わせてください。

試験会場：（予定）

教育コース	試験会場
統合進化科学	葉山キャンパス 〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村） （詳しくは https://www.soken.ac.jp/access/ ）

※海外在住の出願者で面接試験の際、日本へ渡航できない特段の事情がある場合、出願期間中にその理由をお知らせください。 統合進化科学コースで認められた場合は、対面に代わる手段を講じます。

6. 合格者発表

入試区分	入学区分	発表時期
第1回	2025年10月入学及び2026年4月入学	2025年8月下旬
第2回	2026年4月入学及び2026年10月入学	2026年2月上旬

※詳細は追って出願者に通知します。

選考状況は、The Admissions Office において、以下の手順でご確認いただけます。

- (i) The Admissions Office にログイン
- (ii) 「出願一覧」をクリック
- (iii) 「提出済」タブをクリック
- (iv) 募集名「総合研究大学院大学 / 先端学術院先端学術専攻 / 統合進化科学コース / 一般入試：●●年●月入学及び●●年●月入学（入学区分参照）」を選択
- (v) 「選考状況を確認する」をクリック

電話による照会には、一切応じません。なお、合格者に対しては合格通知書を発送します。

7. 入学手続き

- (1) 入学手続き期間は、2025 年 10 月入学者は 2025 年 9 月下旬、2026 年 4 月入学者は 2026 年 3 月上～中旬、2026 年 10 月入学者は 2026 年 9 月下旬を予定していますので、合格者は所定の期間内に入学手続きを完了してください。なお、詳細は、合格者に対して別途通知します。
- (2) 入学に要する経費は次のとおりです。ただし、国費外国人留学生は入学料及び授業料は不要です。

入学料	282,000 円
授業料 (年額 535,800 円のうち半期分)	267,900 円
学生教育研究災害傷害保険料(3 年分) (通学特約・賠償特約付)	3,620 円

注3 入学時及び在学中に、入学料及び授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな金額が適用されます。

注4 納付済みの入学料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、学生教育研究災害傷害保険料については、2025 年 10 月入学者は 2025 年 9 月 30 日まで、2026 年 4 月入学者は 2026 年 3 月 31 日まで、2026 年 10 月入学者は 2026 年 9 月 30 日までに入学を辞退した場合、返還します。

- (3) 有職者（非常勤、アルバイトを除く。）については、任命権者が発行する書類（在職在学許可書、研修命令書、休職証明書等のいずれか）を提出してください。本学入学の前月までに退職する者は、退職証明書を提出してください。
- (4) 出願時に他の大学・大学院に在籍している者（本学入学の前月までに卒業・修了する者は除く）は、退学証明書を提出してください。
- (5) 外国籍の方は、特別な事情のない限り、「留学」の在留資格を取得して下さい。「留学」の在留資格の取得方法は本学ウェブサイトにて案内しています。

8. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、職業を有している等の事情により、標準の修業年限（博士後期課程：3 年）を超えて在学しなければ課程を修了することが出来ない者が、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出た場合、その計画的な履修を認める制度です。

この制度の詳細に関しては、学務課教務係 [E-mail: kyomu@ml.soken.ac.jp 又は電話 046-858-1523・1524] にお問合せください。

9. 注意事項

- (1) 出願及び受験の際は、「受験される皆さんへ」をよく読んでおいてください。
- (2) 出願書類受理後の提出書類の返却及び内容変更は認められません。
- (3) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 出願時に他の大学院に在学中で転入学を希望する場合は、願書受付期間の最終日までに学務課学生係までお知らせください。
- (5) 心身に障害のある出願者で受験時および入学後の履修に際し、特別な措置を必要とされる場合には、出願書類受付期間の 3 か月前までにその旨お知らせください。
- (6) 受験辞退される際には、学務課学生係 [E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax: 046-858-1632] までお知らせください。
- (7) 出願書類提出後に、住所等の変更がある場合には、学務課学生係 [E-mail: gakusei@ml.soken.ac.jp 又は Fax: 046-858-1632] までお知らせください。
- (8) 本学では、原則として二重学籍を認めていません。
- (9) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、入学者選抜の実施方法を変更する場合は、本学ウェブサイトで公表しますので、必ず確認してください。

10. 安全保障輸出管理について

本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「総合研究大学院大学安全保障輸出管理規則」等を定め、技術の提供や研究者・学生の受入れに際し、審査を実施しています。このことから、規制事項に該当するおそれのある場合は、希望する教育・研究内容の変更を求められることがあります。なお、入試の可否には関係ありません。

安全保障貿易管理の詳細については、経済産業省のウェブサイトを参照してください。また、審査手続きの詳細は各コースの担当事務までお問い合わせください。

・経済産業省のウェブサイト <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

11. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 出願時に提出していただいた氏名、住所、その他の個人情報については、「入学者選抜（出願処理、選抜試験実施）」、「合格者発表」及び「入学手続き」等の入試業務を行うために利用します。
なお、入学者については、「教務関係（学籍管理、就学指導）」、「学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）」及び「授業料徴収に関する業務」を行うことにも使用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。

統合進化科学コース（博士後期課程）を受験される皆さんへ

併願について、出願期間・課程・入学年月が同一の場合に、第2志望までの併願を可とします。本コースは、天文科学コース、核融合科学コース、分子科学コース、物質構造科学コース、総合地球環境学コース、極域科学コース、基礎生物学コース、生理科学コース、遺伝学コースとの併願を認めます。ただし、選抜は、コースごとに行われますので、併願する際には各試験日程・試験会場について留意してください。

1. 選抜方法

書類選考、英語能力及び面接により選抜します。面接は日本語または英語で実施します。

1) 書類選考：

本コースが提出を求めた資料について行います。

2) 英語能力：

面接の際に、簡単な英語の問題に答えていただきます。

(※ただし、面接を英語で受験する者を除く。)

3) 面接：

面接は最長で60分間です。

これまでの研究内容、今後の研究への抱負、研究計画及び英語の能力について面接を行います。

- ① 研究に必要な英語能力を見るために英語の文章の黙読を行い、その後、その文章についての質疑応答を行います（英語で受験する場合はこの試験は実施しません）。
- ② 修士課程またはこれまで行ってきた研究について10分間で説明してください。
- ③ 続いて、今後の研究抱負について10分間で説明してください。これには、研究目的、意義、方法を含めてください。
- ④ その後、質疑応答を行います。
- ⑤ 質疑応答には、研究に必要な基礎知識に関する問題も含まれます。

※上記②・③の参考資料として、プレゼンテーション用の資料をそれぞれについて1枚ずつ配布することが可能です（A4版、図・表の使用可、両面印刷不可）。それ以外の資料（説明原稿など）は持ち込み不可です。プレゼンテーション用の配布資料は使用言語に合わせて準備してください。

※必要に応じてホワイトボードを使用することは可能です（それ以外の機器の使用は不可）。

※上記の配布資料は、原則として試験日の1週間前までに統合進化科学研究センター事務係 (hayamajimu@ml.soken.ac.jp) へメールでご提出ください。

2. 採点・評価基準及び合否判定基準

採点・評価基準：出願書類及び面接により出願者の学問に対する熱意や意欲、基礎学力、表現力、論理性、研究者としての適性等の点を評価し採点します。

合否判定基準：面接の結果と出願書類による評価、3年間で研究を遂行する能力があるかどうか等を総合的に検討し、合否を決定します。

3. 上記に関する問い合わせ先

〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総合研究大学院大学 総務課 統合進化科学研究センター事務係

電話 046-858-1595, 1577

E-mail hayamajimu@ml.soken.ac.jp

ホームページアドレス <https://ies.soken.ac.jp/index.html>

統合進化科学コース 担当教員の研究内容

統合進化科学コースの教員のリストです。より詳しい研究内容及び最新の教員情報についてはホームページ (<https://rcies.soken.ac.jp/index.html>) を参照してください。

※標準修業年限（5 年一貫制博士課程：入学時から 5 年間、博士後期課程：入学時から 3 年間）以内に定年退職を予定している教員を主任指導教員とすることはできません。ただし、副指導教員として指導を受けることはできます。

E-mail について：(at)は@に置き換えてください。

本郷 一美 ・ 准教授 (046-858-1599, hongou_hitomi(at)soken.ac.jp)

<先史人類学、環境考古学>

人類の歴史におけるヒトと環境との相互関係の変遷を研究しています。考古遺跡から出土する動・植物遺存体資料（骨、種子、花粉など）を分析し、ヒトの活動が他の生物や周辺環境に与えた影響、自然環境の変化がヒトの生業や社会にもたらした影響について探っています。動植物の家畜化・栽培化は、文明社会の発達を可能にする一方、後の地球環境悪化を引き起こす遠因となりました。家畜化・栽培化の初期過程の解明と過去・現在・未来の人類と環境の関係の理解を目指し、分子遺伝学、環境科学、文化人類学などの分野の専門家と協力して研究を進めています。

現在、西アジア（トルコ、シリア、ヨルダン）をフィールドに、偶蹄類の家畜化とムギ、マメ類の栽培化に関する研究を行っているほか、ユーラシア全域および東南アジア島嶼部の資料を用いてイノシシの家畜化過程を探っています。

※2026 年 3 月末 定年退職予定

薦谷 匠 ・ 助教 (046-858-1561, tsutaya_takumi(at)soken.ac.jp)

<自然人類学、霊長類学、生物考古学>

もし、自分が縄文時代の狩猟採集民や、熱帯雨林に暮らすチンパンジーとして生まれていたら、どのように生まれ、成長し、子供を産んだりして、亡くなっていったのでしょうか？ 私は、そうしたいろいろな「わたしたち」（ホモ・サピエンスや進化的に近い種）の生きざまやライフヒストリーを復元し、文化や自然環境が個体に与える影響を調べ、進化適応や社会情勢にどう影響していくのかを明らかにすることを目指しています。具体的には、食性や授乳・離乳歴や生息環境を復元できる安定同位体分析や、生理状態や由来する生物種・体組織を推定できるプロテオミクス分析を生物試料に応用し、過去の人類や、現生の霊長類の生きざまを主に調べています。さまざまな分野を横断する文理融合の研究で、アプローチはフィールドワークからラボワークまで多岐にわたります。ヒト、化石人類、霊長類などを研究対象として、さまざまな側面から「人類とは何か？」を一緒に明らかにしていきたいませんか？

沓掛 展之 ・ 教授 (046-858-1562, kutsu(at)soken.ac.jp)

<行動生態学、動物行動学、霊長類学>

動物を観察していると「動物はどのように暮らしているのか？」「なぜ、動物はある行動を行うのか？」「動物は何を考えているのか？」「なぜこれほど多様な動物がいるのか？」などの多くの疑問が生じます。私は、動物の行動・生態・表現型・認知を適応的な観点から分析することによって、動物の「生き様」を進化生物学的に理解することを目指しています。現在までのおもな研究テーマは、哺乳類（霊長目、食肉目、齧歯目）における社会行動ですが、最近、他の脊椎動物の研究や、社会行動以外のテーマにも挑戦し始めています。大学院生の研究テーマ・研究対象は基本的に自由で、自主的な研究提案を尊重したいと思っています（ただし、放任という意味ではありません）。方法論としては、フィールドワークによるデータ収集、飼育動物を対象にした行動実験・社会内分泌学的研究、系統情報を用いた行動生態学的データのメタアナリシス、一般性の高い概念的理論の構築なども行っています。研究活動においては、ナチュラリストや博物学的な視点を重視するとともに、比較認知科学、保全生物学などの隣接分野の視点を融合したマクロレベルでの包括的理解を目指しています。動物が好きで、積極的に研究を行いたい学生と一緒に研究することを楽しみにしています。

渡辺 佑基 ・ 教授 (046-858-1504, watanabe_yuuki(at)soken.ac.jp)

＜生態学、海洋生物学＞

動物の体に計測機器を取り付ける「バイオロギング」の手法を使って、海洋動物（魚類、海鳥類、海生哺乳類）の生態を調べています。野外調査で集めたデータを、文献に記載されている他の種のデータと比較することで、当該種の行動パターンや生理様式の進化を促した生態的意義（究極要因）を探るのが基本的なアプローチです。かつてはアザラシやペンギンの研究に力を入れていましたが、現在はサメ類を始めとする大型魚類の研究が多くなっています。国内では高知や沖縄、国外では台湾やカナダなどで野外調査を行っています。それにくわえ、葉山キャンパスのある三浦半島でも野外調査ができないか、可能性を探っているところです。野外調査とデスクワークのバランスのよい、言い換えれば頭と体が両方動く研究者になりたいと願っています。私の研究室で研究を進める学生もそれを意識して欲しいと思います。

寺井 洋平 ・ 准教授 (046-858-1572, terai_yohei(at)soken.ac.jp)

＜適応と種分化の機構、分子進化生態学＞

地球上では数多くの生物の種が様々な環境に適応し、お互いに関わりながら生物の多様性を作り出しています。この生物の多様性はどのようにして創り出され維持されてきたのでしょうか？私はその機構を明らかにしようと研究を進めています。具体的には生物が環境に適応する機構をDNAやRNAの解析、集団遺伝学解析、タンパク質の機能と環境との相互作用までを研究することにより明らかにします。さらにそのような適応進化によって生じる交配をしない集団、つまり新しい種が分化する機構を明らかにします。また、非常に近縁な種間のゲノムの情報から種特異的な適応や種分化に関わってきた遺伝領域を明らかにする研究も行っています。適応と種分化の研究に実際扱っている生物種は、刺胞動物、地衣類、魚類、爬虫類、哺乳類と幅広く、研究も実験室内の分子生物学実験、魚類の飼育、生態情報を集めるためのフィールドワークなど幅広く行っています。

木下 充代 ・ 准教授 (046-858-1589, kinoshita_michiyo(at)soken.ac.jp)

＜神経行動学、脳科学＞

ヒトは、普段何気なく周りにあるたくさんの物を見ています。見ていると感じる「知覚」は、目から入った光情報が脳において再構築された主観的な経験です。この主観的な経験は、生き物によって随分違います。私はこれまで、ヒト以外の動物が見ている世界と、それを生み出す脳のしくみに興味を持ち、チョウの視覚世界を中心に調べてきました。チョウはヒトと同様明るさや色の他に紫外線や偏光といったヒトには見えない光情報も見ることができるのに、その脳のおおきさはたった1mm³程度です。他の動物の視覚世界は、たくみに調整した視覚刺激を学習・弁別させる行動実験によって知ることができます。一方、知覚が生まれる高次脳領域を調べるのには、様々な神経科学的手法を用います。他の動物の知覚世界を知るとは、我々ヒトが多様な動物種の中であって、ヒトがどのような生き物かを考える一助になるでしょう。

渡邊 崇之 ・ 助教 (046-858-1561, watanabe_takayuki(at)soken.ac.jp)

＜神経行動学、神経進化発生学＞

昆虫を含む多くの動物は、成体へと至る過程で「変態」という発生学的プロセスを経て、ボディープランをダイナミックに変化させます。変態を介した新たなボディープランの獲得には、変態後の体を制御する神経系の再編成が必要となります。私は原始的な不完全変態昆虫を材料に、変態に付随して起こるであろう神経回路の構造的・機能的再編成の分子機構や機能的意義を解明することを目的に研究を進めています。主な実験材料は遺伝学的操作が容易な数少ない不完全変態昆虫であるコオロギです。現在は、成虫となったコオロギが示す儀式的な闘争行動や配偶行動などの成虫特異的・性特異的な社会行動に着目し、これらを司ると予想される生体アミン系神経回路や性的二型神経回路に関する研究を進めています。

入江 直樹 ・ 教授 (046-858-1563, irie_naoki(at)soken.ac.jp)

＜進化発生生物学、分子発生学＞

我々人類の末裔が多数の手と複数の顔を持った阿修羅像のような姿をした生物種に進化する可能性はどのくらいあるのでしょうか？ヒトの体は受精卵から体ができる過程（発生過程）で形が決まっていますが、この発生過程のどこをどう変えていけば、最終的に劇的な進化につながるのでしょうか？突飛な疑問に聞こえますよね。そうなんです、実際、現代生物学ではこうした表現型の進化可能性の問題にはほとんど答えることができてません。入江研究室では、こうした進化可能性や進化予測といった問題に対し、主に動物を対象に取り組んでいます。興味を持った問題を解くためなら研究手法にはとらわれません。分子生物学的な実験、発生学実験、ゲノム解読、遺伝子発現データや単一細胞レベルでのマルチオミクス解析、機械学習、共同研究を通した理論研究などなど。一緒にどんな研究戦略で進められるかを考えながら、研究を遂行します。また、研究テーマは大学院生が自ら提案した計画をベースに発展させ

ながら進めることもできます。実際、私もそうしていまの研究テーマにつながる研究をスタートさせました。大学院生、ポスドクには独立した科学者として成長してもらい、次の時代を担ってもらうことを重視しています。一度きりの人生、人類の叡智を広げることに挑戦してみませんか？

颯田 葉子 ・ 教授 (046-858-1574, satta(at)soken.ac.jp)

<進化生理学、ゲノム遺伝学>

科学・技術の発達により空前の繁栄を謳歌した人間は現在様々な問題に直面しています。このような問題の根本原因のひとつには「人間」が自分自身の生物としての存在を十分認識していないことに起因しています。生物としての存在を認識するためには、「人間」が自然界のなかでどのように進化してきたかを知ることが肝要です。一方私たちのゲノムには、その時その時の環境の変化に適応した結果が記されてきました。進化の過程で刻まれた特異的な環境適応の様子をゲノムレベルで明らかにし、「生物としての人間」とは何か明らかにすることを目指しています。現在取り組んでいる課題は、環境適応や環境応答関連遺伝子(具体的には疾病と関連する遺伝子や食と関連する代謝関連遺伝子・感覚受容体遺伝子)の進化を通して文化を含む環境がヒトゲノム多様性・ヒト進化に及ぼした影響(文化駆動的ゲノム進化)を探る研究です。また、その他に、ヒト特異的偽遺伝子(機能を失った遺伝子)のヒト進化への影響を探る研究、現代人ゲノムの中の旧人ゲノムの進化的意義の探索などです。

※2027年3月末 定年退職予定

大田 竜也 ・ 准教授 (046-858-1575, ota(at)soken.ac.jp)

<分子進化学>

様々な生物のゲノム情報や遺伝子発現情報が蓄積してきた現在、一つ一つの遺伝子を解析しその進化を明らかにすることのみならず、複数の遺伝子の発現によって構築されるシステムとして生物の進化を研究することが重要となってきました。「どのように個々の遺伝子における突然変異が表現型の変化につながり自然選択や人為選択の対象となってきたのか?」「様々な遺伝子での突然変異を通じていかに複雑なシステムが構築されてきたのか?」このような問題を解明することをめざし集団遺伝学や分子進化学に基づいた研究を行っています。近年は、免疫グロブリン等の多様な抗原認識能を持ち合わせる脊椎動物の「免疫システムの進化」、ゲノム解析に基づくアズキなどの栽培植物の起源や進化等を題材にしています。

五條堀 淳 ・ 講師 (046-858-1606, gojobori_jun(at)soken.ac.jp)

<自然人類学、分子進化学、集団遺伝学>

ヒトという種がどのように成り立ったのか?という疑問に対して、2つのアプローチを考えています。そのアプローチとは、「ヒトの種特異的形質の進化を理解する事」と、「アフリカに出現したヒトの世界への拡散の過程を理解する事」の2つです。これらの進化の過程を主に分子進化学的手法と集団遺伝学的手法を用いてDNAレベルで解析します。現在は遺伝子のモチーフの1つである単一アミノ酸リピートに着目して解析を行っています。また、日本国内や国外で様々な現代病を含む遺伝病の原因遺伝子のマーカーを探索するプロジェクトが進行中ですが、そこから生まれる大量のヒト遺伝的多型のデータを活用する事で、医学的データの人類進化学への還元を目指します。さらには人類進化に限らず、脊椎動物の進化や無脊椎動物の進化まで、視点を広げての解析も行っています。

田辺 秀之 ・ 准教授 (046-858-1573, tanabe_hideyuki(at)soken.ac.jp)

<分子細胞遺伝学、染色体ゲノム進化学>

地球の歴史は地層に、生物の歴史は染色体に刻まれている、と言われますが、生物進化の歴史性を念頭において、「染色体」の構造と機能の解明を目指しています。すなわち、ゲノム進化の過程で、染色体がどのような再配列、核型進化を経て、細胞核内にどのように秩序化されてきたのかをDNAからクロマチン、染色体レベルにわたって「染色体テリトリー」という観点から探っています。ヒトを含む霊長類を中心とした哺乳類、鳥類などの脊椎動物由来の培養細胞だけでなく、無脊椎動物由来の初期胚等を観察対象とし、マルチカラーFISH (Fluorescence *in situ* Hybridization) 法、2D-/3D-FISH 法、生細胞蛍光観察、マイクロダイセクション(染色体顕微切断)による新規プローブ作成などを駆使して、分子生物学、分子細胞遺伝学的手法による、ゲノム再編成、染色体テリトリー・遺伝子領域の核内空間配置解析等に取り組んでいます。ライブセルを用いた超解像での4D-Nucleome解析の確立を通じて、染色体構築基盤の総合的な解明を目指しています。

大槻 久 ・ 准教授 (046-858-1638, ohtsuki_hisashi(at)soken.ac.jp)

<理論生物学、進化ゲーム理論>

飢餓状態に陥ったキロタマホコリカビでは、一部の個体が自己犠牲的に長い柄となり仲間の分散を助けます。アリやハチなどの社会性昆虫の多くでは、女王が繁殖を担当しワーカーは労働に徹します。ヒトでは互惠性が社会の基

盤を成しています。このように協力は生物界で普遍的に見られますが、自らはコストを支払わずに協力の恩恵のみを享受する「裏切り者」の存在のため、協力の進化的起源は自明ではありません。数理モデルを用いてこの起源を理論的に明らかにしています。具体的には微生物の血縁認識、アリコロニーの動的最適化、包括適応度理論の一般化、集団構造と進化動態、ヒトの間接互惠性、罰や報酬の進化、順位制の進化などのテーマを扱います。その他、動物行動、種多様性、文化進化、社会ネットワーク、ヒトの生活史の進化、発がんプロセスのモデリングにも取り組んでいます。進化ゲーム理論やアダプティブダイナミクス理論自体の基礎研究も行っています。

印南 秀樹 ・ 教授 (046-858-1600, innan_hideki(at)soken.ac.jp)

＜集団遺伝学、分子進化学、ゲノム進化学＞

進化のプロセスをDNAレベルで解析しています。例えば、二人のヒトのDNA配列を比べると、平均して約1000塩基にひとつ違いがあります。これは、ヒトとチンパンジーとの違いのおよそ1/10-1/15に相当します。このような違いが、どのような進化モデルで説明できるかということを考えます。特に、ダーウィンの言うような自然選択の力が、いつ、どこで（ゲノム中の）、どのように働いたか、そして、どのように現存する多様な生物種の形成に貢献したかを、明らかにしたいと考えています。手段としては、理論、データ解析、そして、簡単な実験を用います。私自身は長い間、理論を中心にやってきたのですが、研究室としてはデータ解析や実験も取り入れていきます。対象生物は、バクテリア、酵母から、植物、動物まで広く扱っています。この分野の若い世代のレベルアップを目標に、学生教育に力をいれます。ラボのメンバーには、自分で選んだトピックを自立して研究する姿勢を身につけてもらいます。トピック（および対象生物）の制限は、DNAの進化に関するものであれば、基本的にはありません。適応進化、遺伝子重複、遺伝子水平移動、性の進化、がん細胞の進化、集団遺伝学の理論的解析などラボメンバーの研究テーマは多様です。

飯田 香穂里 ・ 准教授 (046-858-1520, iida_kaori(at)soken.ac.jp)

＜科学史、生物学史＞

現在やこれからの科学のあり方を考えるには、科学を人間の活動の一つとして捉える必要があります。科学史では、科学の知と無知とが社会の中でどのようにして生産され、それがどのように社会を形作ってきたのかについて考察します。私は、科学史の中でも、主に20世紀の生物学史を扱っており、原爆投下、ビキニ被災、原子力の平和利用キャンペーンなど放射線関係の出来事と生物・医学との関係、農業・育種と遺伝的知識・技術と社会的背景の関係などについて研究しています。歴史学的には、脱「西洋」中心主義の最近の科学史記述の流れに関心があります。このほか、さまざまな方面の史資料の保存にも取り組んでいます。

大西 勇喜謙 ・ 講師 (046-858-1643, oonishi_yukinori(at)soken.ac.jp)

＜科学哲学＞

科学と社会との関係を考察するうえで、科学という営み自体についての理解は欠かせません。科学哲学とは、科学的方法論や、科学的知識の本性などについて分析する学問です。私自身は、主に科学的知識の分析に関心があります。中でも、「科学的实在論論争」という、科学理論が述べる肉眼では観察不可能な事柄の真理性に関する論争について研究を行なっています。これまでの研究では、「認識論」という哲学の分野における諸理論を、本論争に適用する試みを行なってきました。また、こうした問題と関連して、証拠による理論の確証や、科学における様々な表象（モデルや図など）の分析にも関心があります。

猪鼻 真裕 ・ 助教 (046-858-1538, inohana_masahiro(at)soken.ac.jp)

＜科学技術史、科学技術社会論＞

科学技術と社会の関係について、多様なパースペクティブから考えます。私の専門は、日本における原子力発電の歴史です。原子力というと、地域住民の反対運動のようなレベルでの、社会との関わりが想像されるかもしれませんが、しかし、科学技術と社会はもっと複雑に、もっと密接に絡み合っています。科学技術の進歩によって私たちの社会が変わる、といった技術決定論は、AI技術の進歩が著しい今よく聞かれます。他方で、自転車の開発史においては、大きな前輪にペダルが直結した型など様々なタイプが開発されましたが、スカートを履いた女性でも乗りやすいようにといった社会的要因も影響し、現在の自転車の型に収斂しています。技術は社会を構成し、社会は技術を形作ります。そのようなダイナミックな過程を研究することに興味があります。